



無病息災を願う湯鬼神が舞い 集めし厄を焼き払う

6/1~

鬼火が誘う地獄の谷

今年も、地獄谷展望台で『地獄の谷の鬼花火』（市・登別観光協会主催）が始まり、初日の6月1日（金）には、訪れた約1千650人の観光客が、会場を埋め尽くしました。

勇ましい太鼓とドラの音に導かれながら、湯の守り神『湯鬼神』が登場。人々の無病息災を願う舞を踊り、集めた厄を詰めた手筒花火を、天高く噴き上げました。

花火関係者も多く見に訪れる、全国でも珍しいこの手筒花火を目の当たりにした観客からは、火柱が噴き上がるたび、大きな歓声と拍手が沸きあがりました。

『地獄の谷の鬼花火』は8月10日（金）まで毎週木・金曜日の20時30分から、夜の地獄谷を幻想的に照らし出す『鬼火の路、幻想と神秘の谷』は、11月30日（金）までの毎日、日没から22時まで開催しています。※駐車場は地獄谷駐車場（夜間無料）をご利用ください。

災害時に必要な 資機材の確保を

災害協定調印式

5月21日（月）、市長応接室で（株）カナモト登別出張所と『災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定』の調印式が行われました。

市はこれまで、各公共機関や民間企業、他自治体と災害時の支援体制を構築し、食糧支援や救済物資の確保などの対応をしてきましたが、今回新たに、市民が安心して避難生活を送ることができるよう、発電機やストーブ、仮設トイレなどの資機材を優先的に借り受けの協定を（株）カナモト登別出張所と結びました。市は、危機管理体制の充実を図るため、今後とも市内の民間企業と災害協定の締結を進める予定です。

5/21



▲小笠原市長（左）と握手を交わす（株）カナモト登別出張所長の五十嵐朋行さん